

# 平成6年度農林水産技術会議依頼

## 研究員研修報告

安井 理奈

### 1. 研究課題と目的

課題：生体成分を指標とした水産生物の特性に関する研修

目的：天然魚と養殖魚の体成分を比較し、養殖魚の肉質改善を図る。

10月27日 総脂質量測定開始

11月9日 平成6年度水産養殖研究推進全国会議出席（於 三重県 伊勢市）

11月16日 ガスクロマトグラフィーによる脂肪酸分析開始

12月6日 平成6年度健苗育成技術開発事業中間報告会出席（於 水産庁養殖研究所）

### 2. 研修受け入れ機関

中央水産研究所 生物機能部 生体特性研究室

12月12日 タンパク質量測定開始

12月19日 イアトロスキャンによる脂質分析開始

### 3. 研修期間

1994年10月1日から12月28日

12月21日 生物機能部セミナー出席

12月28日 研修終了

### 4. 研修の経過

10月4日 サンプルの調整、水分量、灰分量の測定開始

10月5～7日 核酸量測定法（STS法）実習

10月17～19日 核酸量測定法（EB法）実習

10月19日 生物機能部セミナー出席

10月24日 高速液体クロマトグラフィーによる遊離アミノ酸分析開始

### 5. 研修成果

報告書本文 頁参照

研修を承諾頂いた、吉田主基中央水産研究所所長、廣瀬慶二生物機能部部長、また、ご指導頂いた中添純一元生物特性研究室室長、良永知義生物特性研究室室長、宇田川美穂さん、横山雅仁さん、石原賢司さん、岡崎恵美子さんをはじめ、中央水産研究所の方々から感謝します。また、研修に出して頂いた奥間徳五郎沖縄県水産試験場場長、久貝一成次長、村越正慶増殖室室長、並びに試験場職員の方々に感謝します。